



第 47 号
 発行
 漆山地域
 コミュニティ協議会



令和7年度の活動を振り返って

漆山地域コミュニティ協議会

会長 黒川 千尋

梅の花が咲き、漸く春めいてきた今日頃ごろですが、地域の皆様には如何お過ごしでしょうか。先日、今年度最後のコミ協役員会が開かれ、地域のお茶の間・なじらね健康教室・環境防災活動・スポーツ大会・くじらっ子ファミリー食堂等各部会委員会の活動報告が行われました。少なくなった子ども達を、地域の宝として見守り育てていく大切さとともに、高齢化が進む中で独居や高齢者のみの世帯が増えている現実を受け止め、支え合う地域の仕組みづくりの必要性を今まで以上に感じております。先般、社会福祉部が中心になって実施した「地域の移手段アンケート」へのご協力ありがとうございました。その結果をもとに2月21日に地域福祉懇談会が実施され、活発な意見交換がなされました。住み慣れた漆山で安心して暮らすことが出来るように、今後もコミ協活動に対して皆様のご意見ご協力をお願いしたいと思います。

令和7年度 漆山地区地域福祉活動計画実現に向けた座談会の開催

令和8年2月21日(土)午前10時より、漆山公民館講堂において、表題の座談会が参加者37名で開催された。

漆山地域より自治会長18名、コミ協役員4名、社会福祉部員7名が参加、西蒲社協関係者は8名が参加し、以下のような議題で行われた。

- ① 西蒲区地域福祉活動計画について
- ② 角田地区で開催された移動支援講演会について
- ③ 漆山地域における移手段アンケート調査の実施報告について
- ④ 移手段について、将来(概ね10年後)不安に思う事、その解決策や準備出来ることなどをグループワーク(8班)
- ⑤ グループで話し合ったことを各グループが発表



◇漆山地域の人口：3,186人(男：1,551人 女：1,635人) ◇世帯数：1,211世帯(令和8年2月末現在)

(注)上記の人口・世帯数は、住民基本台帳(新潟市・区役所・町名別)より抜粋していますが、河井地区には潟頭地籍の住所地が複数軒あるため、実際の人口や世帯数より少ない数字となっています。

漆山地域の移動手段アンケート調査について

漆山地域コミュニティ協議会は、漆山地域の全自治会を対象とした上記のアンケート調査を対象1007世帯で実施（令和8年1月5日～1月26日）した。

アンケート調査の質問内容は、所属する自治会、家族世帯構成、主たる交通移動手段、利用頻度、自家用車を持たない人の移動手段、移動目的、将来に対する不安や準備について、など全7問で構成され、最後にアンケート調査に関する自由な意見を記入してもらった。

アンケート調査の集計結果について

アンケート調査の回収世帯は、1007世帯に対して633世帯となり、回収率は62.9%であった。

当初予想した回収率は、55%位であり地域での関心の高さが伺え、自由欄への記入も多くの方が意見や感想を述べている。

ただし、自治会ごとの回収率では、14%～92%とばらつきがあり、地域での温度差もあった。

自由意見欄では、オンデマンドタクシー（予約型乗り合いバス・タクシー）制度の導入を希望する声が3割を超えており、なかには近隣の市町村で、すでに実施されている事例を紹介したものもあった。

地域の移動手段に対する新潟市の動き

3月5日新潟市は、「AI活用予約型乗り合いバス」の導入を検討するため、南区と西蒲区の一部で、今年の秋ごろ社会実験を行うと新潟市長が発表した。

西蒲区では西川～白根間で実施される予定であり予算も4,060万円を計上された。

社会実験の結果を踏まえて、導入を検討することであるが、先に実施した当地域の移動手段アンケート調査の要望意見欄でも、予約型乗り合いバスの導入希望が多数を占めていたので地域住民の声も反映してもらいたい。

既に導入済みの柏崎市では、対応する車両を今年度より13台に増車し対象地域も拡大するなど、利用者の利便性を図っている。

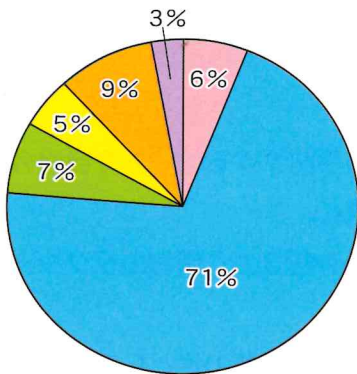
また、小千谷市では利用者が前年度より2倍に増加して、地域住民にサービスが浸透している。

AI活用予約型乗り合いバスは、従来のバス路線や運行計画と違い「生活スタイルに合わせた交通システム」となっており、住民ニーズに合致した交通手段となっている。

漆山地域移動手段アンケート集計結果

令和8年1月現在

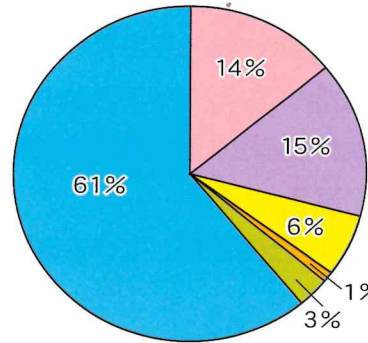
■ 移動手段 (複数回答)



	(人数)
バス	46
自家用車	593
自転車	56
徒歩	43
送迎(家族)	75
その他	22
合計	835

○移動手段として自家用車の割合が71%・送迎9%とほとんどであり、バス等利用は少ない。

■ 移動手段に不便を感じている人・それはどのような時か (複数回答)

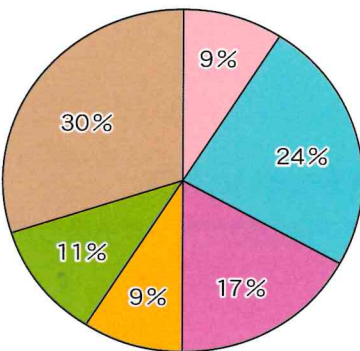


	(人数)
買い物	97
通院	101
通学	40
通勤	9
その他	24
感じていない	424
合計	695

不便を感じている人 271人 39%
 不便を感じていない人 424人 61%

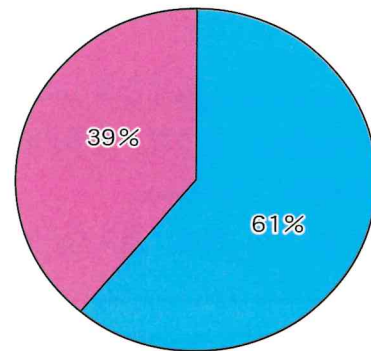
○不便を感じていない人が61%と自家用車の利用率とほぼ同じであり、将来これが逆転する可能性がある。現在でも通院・買い物で不便を感じている割合が30%近くある。

■ 通勤通学以外で出かける頻度



	(人数)
週1回	55
週2回	152
週3回	104
週4回	59
週5回	69
その他	185
毎日	73
不定期	53

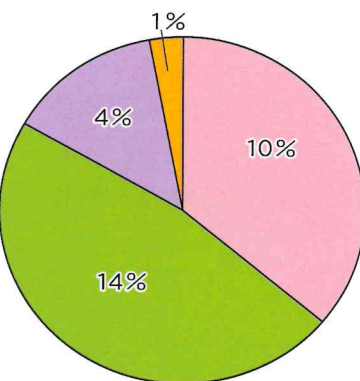
■ あなたの家族は将来 (10年後位) 移動手段に不安がありますか



	(人数)
ある	362
ない	232
合計	594

○年齢構成上最も多い70代が10年後に一番不安を抱いている。不安の無いのは、何不自由なく車を利用できる若い世代である。

■ 一人・二人世帯の年代別構成



	(世帯数)
60代	65
70代	87
80代	25
90代	5
合計	182

○一人世帯・二人世帯が回収633世帯の内29%有り、ますます増える事が予想される。



漆山地域の移動手段アンケート自由意見

- ◎燕市では、巡回バスと予約型乗り合いバス（ワゴン車）が運行されています。
- 巡回バスは、全区間同一料金、予約制乗り合いバスのタクシー料金の半額以下で利用者に喜ばれています。当地区でも導入を切にお願いします。
- ◎曜日、時間をきめて運転できる在宅者が、通院、買い物に困っている方の手助けする仕組みを自治会内で確立する。（地域内ボランティア活動の育成）ガソリン代程度謝礼を頂く。
- ◎40歳以上が保険料を拠出する介護保険制度の見直しを行い、免許返納者や軽度の介護者のタクシー利用の便宜を図って貰う。
- ◎マイクロバスやミニバンを所有している事業所や個人で使用していない時間を地域の足として活用できないか検討する。
- ◎弥彦村のように自動運転バスを導入して欲しい。
- ◎シニアカー購入時に補助金を助成して欲しい。
- ◎事故等を考えると地域ボランティアでの移動手段は心配だ。
- ◎区バスの運行を維持して欲しい。
- ◎家族がいても日中の移動手段として、予約型乗り合いバスが有効である。
- ◎バス停留所まで距離があり、悪天候時でのバス時間待ちは大変である。
- ◎現状のバス停や運行時刻が、生活サイクルにマッチしていない。
- ◎地域ボランティア輸送体制が良いと思うが、事故対応、運転手不足など課題も多いと思う。
- お金がかかるが、オンデマンドタクシー（予約型乗り合いバス）など公共交通機関が実施するほうが安心である。
- ◎スーパー、コンビニ等の移動販売を漆山地域内に拡充して欲しい。
- ◎移動手段の確保は必要だと思うが、今後の高齢化した地域を考えたとき、歩ける範囲、外出しないで済む仕組みづくりを構築して欲しい。
- ◎普段から近所付き合いや、親戚、友人などの関係づくりを大切にして相互扶助の気持ちを大事にする。



◆コミュニティ協議会事務局より◆

上記のご意見や要望については、169件の中から抜粋したものです。他にもたくさんのご意見や要望がありましたが、紙面上掲載できませんでしたのでお詫びいたします。

今回のアンケート調査につきましては、大勢の地域の皆様から回答いただきましたことや、貴重なご意見や要望を数多く賜りましたことに深く感謝申し上げます。

今後も、皆様のご意見や提案を踏まえ継続して漆山地域の移動手段を考えていきたいと存じますので、よろしくをお願いします。

漆山地域コミュニティ協議会
に対するご質問やご意見
をお聞かせください。

◎ 問合せ … 漆山地域コミュニティ協議会

TEL・FAX 0256-73-2660

〒953-0061 西蒲区馬堀 6001-56 (漆山公民館内事務局)